



こいけ 正 昭 小池まさあき県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

成田空港 今後ともアジアのハブとして

空港本体機能充実、アクセス向上、地域の環境対策、振興策を!

6月県議会一般質問 成田市特集



6月県議会一般質問に立ち、成田空港施策などを質した小池正昭県議

ふるさと成田の発展を目指して、活発な議会活動を続けている小池正昭県議は6月県議会で登壇し、一般質問を行いました。成田空港の充実を後押ししている小池県議は今回の一般質問でも空港問題に力点を置き、東京オリンピックを控えて、空港と都心を結ぶアクセス改善などを県や県警の担当者に要望しました。また、国家戦略特区に成田市が組み入れられたことで、今後の県の係わり方などを質しました。小池県議の一般質問と県、県警の答弁を特集します。

量30万回化やLCC専用ターミナルの建設も進んでいる。さらには空港内にカプセルホテルやオープンなどのこれまでにない取り組みも見られている。このような中、既に地元においては、最近の羽田に偏った議論の傾向に対して、成田地域の経済界を中心に、去る4月30日には「成田第3滑走路実現する会」が発足し、30万人を目標に署名活動も展開されている。

新滑走路求める機運 県「真摯に受け止め」

小池議員 成田空港が今後ともアジアのハブ空港として、また日本の表玄関としての地位を保つために重点的に取り組むべき課題が3つ挙げられる。1つ目が空港本体機能の充実、2つ目が空港アクセスの向上、3つ目として内陸空港という特性による地域の環境対策と振興策だ。これらは有機的に絡み合う同列の課題であり、どれ一つとして欠かしてはならないものである。空港本体機能の充実では、今年度末を目指した発着容

が3つ挙げられる。1つ目が空港本体機能の充実、2つ目が空港アクセスの向上、3つ目として内陸空港という特性による地域の環境対策と振興策だ。これらは有機的に絡み合う同列の課題であり、どれ一つとして欠かしてはならないものである。空港本体機能の充実では、今年度末を目指した発着容

一方、成田空港周辺には多くの方が生活しており、県としては生活環境の保全などのため、まずは発着枠30万回化や離着陸制限、いわゆるカーフェリーの弾力的運用など、これまで

空港一都心アクセス 東京五輪控え向上を

小池議員 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会・輸送調整会議でオリンピック・レーン等の検討がなされているようであるが、その状況はどうか。警察本部長 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会・輸送調整会議は、平成25年12月に東京都が主体となり設置され、県警察も参画しているところであり、この輸送調整会議において、指定された大会関係車両が専用を使用するためのオリンピック・レーンの設置等についても検討がなされています。県内では成田空港と都内を結ぶ高速道路等にオリンピック・レーンの設置が検討されており、今後、オリンピック・レーン等の路線や運用方法等の具体的な検討が行われていくと承知しています。

要望 小池議員 道路アクセスについて

小池議員 空港への鉄道アクセスに関してだが、東京オリンピック・パラリンピックを控え、二重改札の解消をはじめとし、空港駅の利便性や魅力を向上させる必要があると思うがどうか。副知事 成田空港駅及び空港第2ビル駅については、駅施設を保有する鉄道事業者において、東京オリンピック・パラリンピックへの対応として二重改札の抜本的な解消策を含め、駅の魅力を向上させるため、関係者による検討体制を立ち上げる意向であると聞いています。県としては、その検討に際し、利便性の向上に資する提案や、必要な協力をしてまいりたいと考えています。

●県政と成田市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

小池まさあき 県議事務所 〒286-0025 成田市東町155-3 TEL.0476(22)0688

●メールもお気軽にご利用下さい。koike@ngy.3web.ne.jp

小池まさあき プロフィール

経歴

- 昭和41年9月 成田市生まれ 三里塚小、遠山中、千葉日大一高、日本大学理工学部卒 同大学院理工学研究科修了
- 平成7年4月 成田市議会議員 初当選(4期連続当選)
- 平成21年6月 成田市議会議員 長
- 平成23年4月 県議会議員 初当選

現職

- 県議会 県土整備常任委員会 委員長

小池まさあき県議会レポート

B滑走路未買収地問題
早期解決へ努力を

再質問

小池議員 いまだにB滑走路南端に居住者が存在することについての県の見解はどうか

副知事 残るB滑走路南端の未買収地問題につきましては、居住者の生活環境の観点から、空港会社において早期解決を目指し、引き続き話し合いを続けていく必要があると考えております。

小池議員 パイロット不足によるLCCの減便等の影響はどのような状況か。
副知事 現在発表されているところでは、成田空港ではバニラ・エアが6月に154便、ピーチ・アビエーションが7月に16便の欠航、さらに、春秋航空日本でも、6月27日の新規就航を8月1日に延期するなど、その影響は全体で6路線762便となっております。

なお、空港会社からはこの欠航は一時的なものであり、空港全体としては大きな影響とは考えていないと聞いております。

小池議員 B滑走路南端の用地内居住者について、第三滑走路の話が随分と出てきているが、この問題が世間一般から忘

れ去られているのではないかとこの危機感を持つている。この問題はきっちり解決しないといけないということは、是非、県としても抑えておいて欲しい。

国家戦略特区東京圏

県、成田市を支援

小池議員 本年5月1日に施行された「国家戦略特別区域を定める政令」で本県の成田市などが東京圏の区域とされ、今後、規制改革のメニューに従い、区域会議の開催など具体的な動きが出てくることになっている。

そこでかがうが、今回の国家戦略特区の決定についての県としての見解と今後の関わり方についてはどうか。

副知事 今回の決定については、医療に関する規制緩和などにより、国際競争力の強化を目指すものであり、成田市を含めた空港周辺地域の発展に寄与するものと期待されるものと認識しております。

現在、成田市では、国家戦略特区における具体的な



議場の自席で再質問をする小池正昭県議

介護関連職種
求人倍率2.28倍
本県、全国平均より高く

小池議員 福祉人材にどうか。本県における介護関連職種の有効求人倍率は全国平均と比較してどうか。また、近年の傾向とそれに対する県の考えはどうか。

健康福祉部長 本県の介護関連職種の有効求人倍率は、平成26年4月時点で2.28倍であり、全国平均の1.94倍と比較して高い状況となっております。

また、近年は、景気の動向を反映し、有効求人倍率が全体的に上昇しており、介護関連職種についても上昇しております。

このため、県内の介護関連の事業所や施設における人材確保は、大変厳しい状況に

を確保した上で、必要な連携等を図り、成田市の目指す「国際色豊かなまちづく」が図られるよう支援し

てまいります。小池議員 成田市が現在、区域計画に向けて調整をしていると思

います。今後、県の協力や理解が必要となるので、是非とも成田市との連絡調整を密に行っていただきたい。

知事 県では、千葉県園芸協会を核に、県内産地を戦略的に連携させる「オーガニック」体制で販売力強化に取り組みこととしています。

海外人材活用議論に対応を

小池議員 福祉人材にどうか。本県における介護関連職種の有効求人倍率は全国平均と比較してどうか。また、近年の傾向とそれに対する県の考えはどうか。

健康福祉部長 県内の介護福祉士養成校11校における平成26年4月現在の定員は618名で、入学者は429名であり、充足率は69.4%となっております。

また、小中高生を対象に、介護の仕事の魅力や、やりがいを理解していただくことを目的として、介護体験学習や福祉セミナー等への支援を行い、福祉の仕事に対する興味や関心を高め、介護に携わる人材の育成を図っております。

また、国においては、外国人技能実習制度を抜本的に見直し、介護分野を含む対象職種の拡大や実習期間の延長などを、年内を目途に検討し結論を出す

農業産出額全国2位奪還へ
産地作りやブランド化

小池議員 農業問題についてかがう。「農林水産業振興計画」において掲げた農業産出額全国第2位奪還に向けて、本年度は何を重点的に推進しているのか。

知事 昨年末に策定した「千葉県農林水産業振興計画」では、農業産出額の増

加に向け、優良農地の確保とその高度利用を基本に、市場ニーズに対応した産地づくりや、農産物のブランド化などを強力に進めることとしております。

計画初年度となる本年度は、新たに設置した農地中間管理機構の活動を通して、

EPAによる受け入れ
18施設に66人

小池議員 経済連携協定EPAによる介護福祉士候補者の受入れ状況はどうか。

また、現在、国で検討している介護分野への外国人技能実習制度について、県と

小池議員 人材難によって介護関連施設の運営が厳しくならないように対応して欲しい。また、海外からの人材についても議論を注視し、その活用策を検討して欲しい。